

星の子だより



第20号 2015年11月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

銀杏や紅葉の葉は鮮やかに色づき、ひらひらと舞い散る景色にどことなく寂しさを感じる季節となりました。木々も冬支度を始めたようです。

これからの季節はインフルエンザや胃腸炎などが流行し、体調を崩しやすくなりますので、『栄養のあるものを身体に取り入れる』『なるべく人ごみを避ける』『手洗い、うがいをする』などの予防を日頃から心がけ、家族みんなの習慣にしましょう。



避難訓練をしました



地震を想定した避難訓練を行いました。「地震が来たよ」のスタッフの声にちよっぴり不安そうな表情の子どもたち。それでも話をちゃんと聞いて真剣に訓練に参加してくれました。これからも定期的に訓練を行い、日頃から避難グッズの点検をし、いざという時に落ち着いて行動できるよう努めていきたいと思っています。



テーブルのしたにひなん!



ぼうさいずきんをかぶってね



避難グッズです!

第25回全国病児保育研究大会に参加して…。

H27.7.19~20日に熊本にて開催された全国病児保育研究大会に今年も参加してきました。今年は「病児保育の輪を広げよう」というテーマのもと小児の感染症や病児保育における保育や看護についての講義、「発達障害を持つ子どもたちとの関わり」のワークショップに参加できました。今後の業務に活かしていきたいと考えております。

私たちスタッフは研究大会のほか、研修会などに参加して知識を深めています。病気のことや育児について何かお困りのことや気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。



ほいくしつのように



星の子ルームでは、季節に合わせた製作あそびや、「お店屋さん」「レストラン」などのごっこあそびを取り入れ、体調がすぐれない子どもたちが、少しでも笑顔になれるような保育を心がけています。

8月には『なつまつり』を行いました。はじめに、「買い物の約束のお話」をしてから、月齢に合わせてスタッフと手をつないだり、自分でお財布とお買い物バックを手にいざスタート! お部屋にはお面屋さん、かき氷屋さん、金魚すくいなどの沢山のお店が並んでいます。子どもたちは『どれにしようかな』と迷いながらも、『これください』『はいどうぞ』など言葉のやり取りを楽しんでいました。いつもと違う表情や会話もみられ、大盛況のうちに『なつまつり』は幕を閉じました。



100えんていりのかな



これください♪



きんぎょがすくえたよ

インフルエンザ注意報!

これから寒くなり、インフルエンザ流行の時期を迎えます。星の子ルームでは隔離室がないため、インフルエンザのお子さんは利用できません。インフルエンザが疑われるときには、小児科医の診断をお願いしています。

インフルエンザの検査を受ける最適な時期は「発症から12時間以降48時間以内」と言われています。もし症状が出たら、適切な時期の検査と速やかな治療で楽になるようにしてあげましょう。また予防接種を受けることでインフルエンザに罹っても軽くすみます。インフルエンザに負けないよう手洗いやうがいなどの感染予防もしっかり行い、寒い冬を乗り切りましょう。



◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@grp.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>